第○学年　家庭科学習指導案

学校名，クラス

指導者　　　等

**１　題材名**

　　　　　・子供が興味をもちやすく，楽しいネーミングを。　　題材名の横に指導内容，指導事項を入れる。

**２　題材設定の理由**

1. **題材について**

　　　　　・「児童」または「子供」どちらかに統一して書く

　　　　　・学習指導要領の内容「Ｃ消費生活・環境」の「（１）物や金銭の使い方と買物」のように位置づけを書く

・社会情勢などから家庭科の視点からの問題点やこの題材で育てていきたい資質・能力など

　　　　　・「生活の営みに係る見方・考え方」のうち重視する視点について

　　　　　・中学校学習指導要領とのつながりを書く

1. **児童の実態について**

　　・アンケート結果からみる児童の実態や問題点

　　・これまでの授業の経過から見た児童の様子（成果と課題など）

  **(3)　指導について**

　　　　　・本題材のこれまでの授業の流れと本時の授業の流れ

**(4)　研究主題または研究副主題との関わり**

・研究主題または副主題と関わって，授業を（または題材で）工夫した点等の説明

**３　題材の目標**

○　物や金銭の計画的な使い方と適切な・・・・・・それらに係る技能を身に付ける。（知識・技能）

○

　　　　・評価規準の項目ごとに目標を書く

**４　題材の評価規準**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|  |  |  |

・評価は「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（小学校，中学校）第3編

単元（題材）ごとの学習評価について（事例）を参考に作成をお願いします。

**５　指導と評価の計画（全○時間）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習過程 | 時間 | **小 題 材 名**○　ね　ら　い・主な学習活動 | 評価規準・評価方法 |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| とらえる | １ | **１「消費者」として大切なことは何だろう**○購入に必要な情報を活用し、身近な物の選び方・買い方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。・買物のシチュエーション映像から、良い点、悪い点、疑問に思った点を書き出す。 |  |  | 購入に必要な情報を活用し、身近な物の選び方、買い方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。（行動観察、ポートフォリオ） |
| 見通す | ２本時 | 本時の指導を太枠で囲む |  |  |  |
| 確かめる | ３ |  |  |  |  |
| 振り返る | ４ |  |  |  |  |
|  | ５ |  |  |  |  |
| 生かす | ６ |  |  |  |  |
|  | 家庭 | ○家族と話し合って，予算に合った（or計画的に）買物をする。○必要な情報を整理し，環境に配慮した買物をする。など |

**６　題材構想図（全○時間）**

【見方・考え方】持続可能な社会の構築

【題材を通した問い】失敗をしない消費者になるにはどうしたらよいのだろう

**中学校との関連**・・・C（１）金銭の管理と購入　（２）消費者の権利と責任

（３）消費生活・環境についての課題を実践

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 学習過程 | 小題材名 | 児童の思考 | 見方・考え方を働かせている思考 | 他教科等との関連 |
| 生かす振り返る確かめる見通すとらえる | 1次（1時間）「消費者」として大切なことは何だろう３次（２時間）どんなことに気をつけて買物をしたらよいのだろう４次（２時間）買物をしてみよう２次（１時間）消費者の役割とは何だろう | 「とらえる」段階は、題材を通した問いをみつける時間を設定する。学習過程の　とらえる→見通す→確かめる→振り返る→生かす　は一例である。題材の流れの中に「振り返る」や「生かす」等くり返して学習を進めることも考えられる。児童の思考の流れと、見方・考え方を働かせている児童の思考の流れを想定して分けて書く。限りある資源を大切にすることからも、買う前によく考えてから買物をしていきたいな。自分が欲しい気持ちを伝えて、お店の人も同意した時点で、契約は成り立っているんだね。**目指す子供の姿**〇〇〇題材の目標と同じでよい。知識・技能、思考・判断・表現、学びに向かう人間性の３つの観点について書く。失敗をしない消費者になるにはどうしたらよいのだろうこれまでの買物で失敗をしたことがあるよ。失敗はしたくないな。 | 道徳Ｃ－(15)家族の幸せを求めて，進んで役に立つことをすること |

**７　本時の学習**

　**(1) 目 標**　　※目標のところには「知識・技能」とか「思考・判断・表現」等評価を書かなくてよい。

　**(2) 展 開**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間（分） | 学　習　活　動 | 指導上の留意点 | 評価規準（評価方法） |
| 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 | １　本時の学習課題を確認する。　・ | ○　・↑学習課題を書く。枠が評価までのびないように。 | ・「５指導と評価の計画」の表と合うように書く・評価の観点は1時間に一つでよい。 |

　**(3) 評価及び指導の例**

|  |  |
| --- | --- |
| 「十分満足できる」と判断される状況 | 「おおむね満足できる」状況(B)を実現した児童が更に質的な深まりや高まりをもっている姿を具体的に想定して書く |
| 「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導 | 支援を必要とする子供を想定して，具体的な手立てを書く |